

第2学年1組 道徳学習指導案

1 主題名 自分の心に正直に (内容項目1-(4) 正直誠実・明朗)

2 資料名 だれのせい?

(出典 埼玉県道徳教育資料集「きょうもげんきに」 埼玉県教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、「主として自分自身に関すること」、低学年1-(4)「うそをついたりごまかしたりしないで、素直にのびのびと生活する。」ことをねらいとしている。正直に誠実に、明るい心で楽しく生活する児童を育てようとする内容項目である。これは、小学校中学年1-(4)「過ちは素直に改め、正直に明るい心で元気よく生活する。」小学校高学年1-(4)「誠実に、明るい心で楽しく生活する。」へと繋がっていく。

子どもたちは、うそをついてはいけないことは知っているが、自己の利害損失に関係することになるとついつい自分を偽ってしまうことも多い。人が見えていても、見ていなくてもうそをつかない。うそをついたら自分自身の気持ちがよくないことに気づくことができるようにしたい。また、人間はだれでも過ちを犯すことがあり、だからこそ過ちを認め、素直に謝ることが大切であることも押さえたい。

(2) 児童の実態について

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。困っている児童がいると優しく教えてあげたり、手助けしてあげたりすることができる。まだ、自己中心的な態度も多く、よく考えずに、自分勝手な行動をして他人に迷惑をかけることも見られる。善悪については、分かっているが、「怒られるのが怖い」「よい子と思われたい」「友達の誘いを断れない」という気持ちから、悪いと分かっているでも正直に言えなかったり、人のせいにして責任を逃れようとする態度が見られる。自分を弁護するうそ、言い訳のためのうそ、ごまかしなど、自分を正当化する方向へ行ってしまいうことも多い。そこで、過ちを正直に言うことができた勇気と誠実な心のすばらしさを認め、児童が正直に明るい気持ちで生活していけるように支援していきたい。

(3) 資料について

休み時間にサッカーをしていたひろ君とてっちゃんは、体育小屋の窓ガラスを割ってしまう。2人がお互いに責任を押し付け合い、言い合っているうちに休み時間が終わる。「ひびが入っただけだから平気だよ。」とてっちゃんは言うが、ひろ君はガラスのことが気になって仕方がない。次の朝、2人が体育小屋の前を通りかかると、ひび割れたガラスにテープが貼ってあった。それを見て、はっとした2人は、先生に本当のことを話すため、職員室に向かったという話である。

この資料では、児童の生活の中にも起こりそうなことであり、同じような体験をしたことのある児童も多いと思われる。そのため、自分と主人公を重ね合わせ、真剣に考えることができるだろう。本資料を通して、過ちを人のせいにして責任逃れをしようとする人の心の弱さに共感させると共に、自分の心に正直に向き合ったことで素直に謝りにいく態度が生まれたことをとらえさせたい。そして、自分を偽らず、正直であることは、気持ちがよいことに気づかせたい。

4 ねらい

うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活する態度を育てる。

5 学習指導過程

段階	学習活動 ○主な発問	予想される児童の発言	指導上の留意点
導入 5	1 うそをついてしまった経験について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・計算ドリルの宿題で、答えを写してしまった。 ・友達のキャップが落ちていて、踏んで割ってしまったが、自分がやったと言えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の体験を想起させ、学習への方向付けをする。 ・児童の発表した「うそ」を風船に書き、「内緒の箱」にしまう。
展開 3 7	2 資料について知る。 3 資料「だれのせい？」の「ひろくん」の気持ちを中心に話し合う。 ○ガラスにひびが入ったとき、ひろ君はどんなことを思ったのでしょうか。 ○「平気だよ。」という言葉が何度も頭の中で響いているひろ君は、どんな気持ちだったのでしょうか。 ○次の日、テープが貼られたガラスを見て立ち止まったひろ君はどんな気持ちになったのでしょうか。 ○先生に本当のことを話した後、ひろ君はどんな気持ちになったのでしょうか。 4 自己を見つめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしよう。 ・怒られる。 ・ぼくのせいじゃない。 ・ひびが入っただけだから、気づかれないよ。 ・誰だか分からないよ。 ・黙っていよう。 ・でも、分かったら叱られる。 ・遊んでいたのは自分だ。 ・悪いことをしてしまった。 ・やっぱりこのままではいけない。 ・正直に話そう。 ・謝ろう。 ・話してよかった。 ・すっきりした。 ・気持ちがいい。 ・「内緒の箱」はいつもからっぽの方がいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を紙芝居にすることで、話に集中し、絵からも場面の状況を捉えられるようにする。 ・相手のせいにし、自分のしたことをごまかしてしまう心の弱さに共感させる。 ・ひろ君の「うそ」(風船)を「内緒の箱」にしまってから話し合いに入る。 ・ごまかそうとする心と良心とで葛藤し、遊ぶ気持ちにもなれないことを捉えさせる。 ・「うそをつきとおす」考えと「正直に言う」考えに分かれて話し合わせ、考えを深める。 ・「内緒の箱」が悲しい顔になり、苦しそうであることを確認し、ひろ君の心の内と重ね合わせる。 ・自分の過ちを隠し通すことのつらさに気付き、正直に話すことを選んだ心の内を十分に話し合わせる。 ・正直に行動したすがすがしい気持ちに共感させる。 ・「内緒の箱」からひろ君の「うそ」を取り出し空気を抜く。 ・箱が笑顔になり心が晴れたことを確認する。 ・「内緒の箱」から児童の「うそ」を取り出し、空気を抜く。
終末 3	5 教師の説話を聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする気持ちを高める。

6 評価の観点

- ・うそをついたりごまかしたりしないで、素直に伸び伸びと生活しようとする気持ちを高めることができたか。